

2024 年事業活動報告書



(2024 年 1 月～2024 年 3 月)

特定非営利活動法人 アジアの誇り ; プレアビヒア日本協会

目 次

1. 事業の状況（2023年10月～12月活動）	1
(1) 10月、地域との協議実施	1
(2) 12月追加植樹の実施	2
2. 2024年度事業計画	5
(1) 2023年度「日中植林・植樹国際連帯事業」助成事業（外務省、日中友好会館） ..	5
(2) 2022年度「日中植林・植樹国際連帯事業」の維持管理事業助成	5
(3) 2024年度第33回イオン環境助成事業	5

（表紙写真：現地協議時写真）

1. 事業の状況（2024年1月～3月活動）

（1）2月、地域との協議実施

2024年2月21日にエコビレッジ住民の方々と、地域の課題、改善点など意見交換を行いました。近隣の農家の方々が20名ほど集まり、2024年度の植樹活動や農業実施における課題、改善を望む事項など提案をもらいました。

- ① 植樹活動には積極的に参加したとの希望が出された。
- ② エコパークなどへの植樹と共に各家でも庭先への植樹などの希望が出された。
- ③ 植樹後の苗木の維持管理についても、施肥や水やりなどの経費を見て頂ければ定期的な実施出来る事が提案された。
- ④ 農業については、継続してビニールハウス農業、ネットハウス農業などが提案された。
- ⑤ 会議後、植樹活動に参加希望する方々の名簿を作成する事となった。

今後に向けて、日本大使館や日本政府外務省等と協議し、支援事業に組み込む課題として取り上げることとしました。



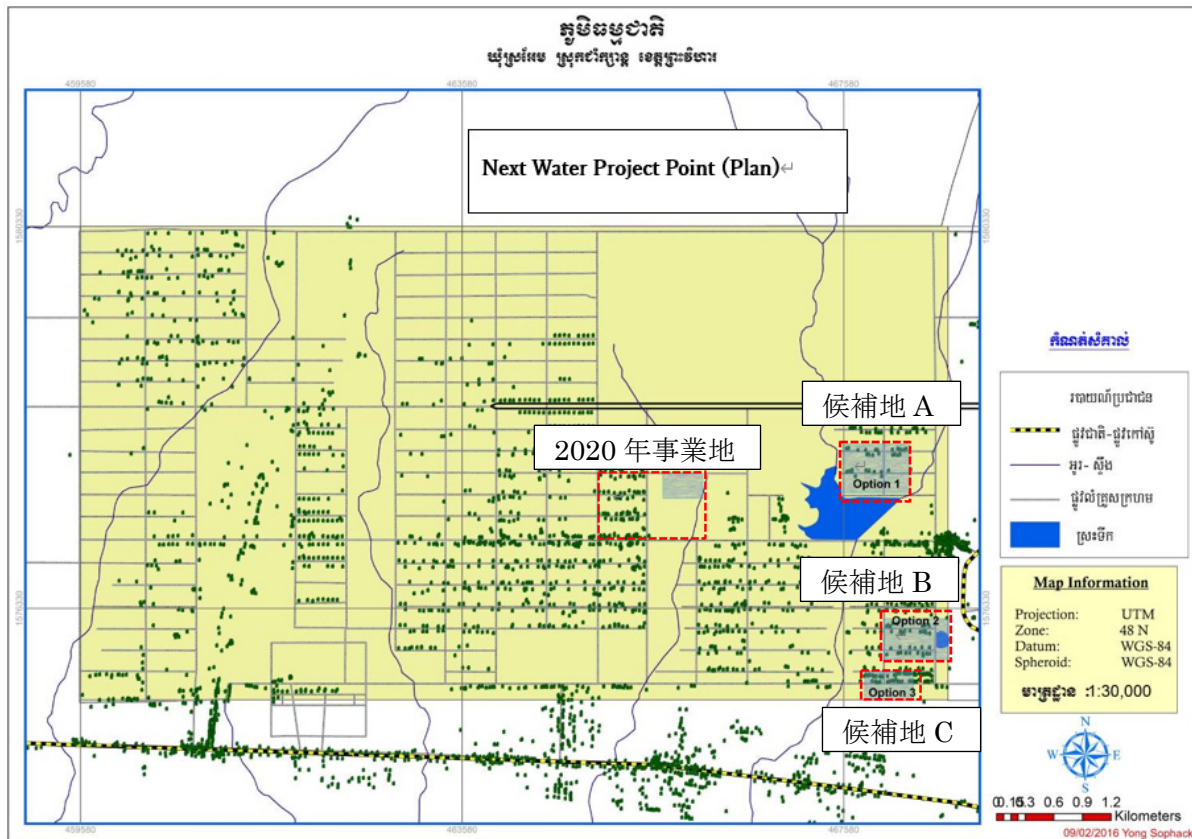
(2) 次期日本政府助成事業地について

2月22日に、日本政府支援の事業として農業用水確保の候補地を調査した。

主に3か所の候補地を確認し、それぞれの可能性を今後検討する事とした。

検討結果をもとに、日本大使館と協議を行い、日本政府 NGO 連携事業に提案することとして、今後詳細の事業計画を作成する事とした。

① 候補適地位置図



② 候補地 A

現地の大規模溜池の北側にあり、溜池に流入する河川の揚水を利用可能。現在は溜池が近隣にあっても貯水を汲み上げる事が難しく十分な給水ができていない。用水が確保できれば、農業生産の増大が見込める。

近隣には10件以上の農家が生産を実施している。



既存の大溜池の末端河川



周辺の作付畑（点滴灌漑）



周辺の畑用地



周辺の農家

③ 候補地 B

自然の貯水池があり、当該地形を利用し、溜池として整備し、揚水して近隣に配水する事が可能。受益農家数として 20-40 軒が見込まれる。自然貯水池として多数の中小河川が流入しており、年間を通じて水の確保が可能である。このため、金利への配水用にポンプ用水などが出来れば、十分な給水量を確保可能とみられる。また、自然貯水池の周辺を整備する事により、近隣住民の憩いの場としての提供も可能となる。



既存の溜池（乾季でも用水が豊富）



既存の溜池（乾季でも用水が豊富）



溜池部から約 100m の位置



周辺農家は既存の井戸を利用

④ 候補地 C

地形としてはエコビレッジ地区の最南端にあたり、近隣よりもやや標高が高い地域で、給水の困難な地形である。しかし、農家数も多く、用水の課題が解決できれば農業生産量の拡大は期待できる。受益農家数は 20-30 軒程度となる。



以上の調査結果から、第一候補都市候補地 A が上げられ、また、地域周辺の農家数を加える事により 50-80 軒の農家に給水が可能となる見通しがある。

第二の候補として候補地 B が上げられるが、候補地 C とあわせて給水する事により、当該地区でも 60-80 軒の農家への給水が可能となる。また、同時に自然溜池の周辺を整備する事により、地域の憩いの場としての環境公園などとしての整備も可能となる。

以上第 1、第 2 候補地を、今後継続して調査する事とした。

2. 2024 年度事業計画

2024 年のプロジェクトについて、日本政府や日本企業からの助成について、以下が決定。

(1) 2023 年度「日中植林・植樹国際連帯事業」助成事業（外務省、日中友好会館）

地球環境問題の解決に向けた植林事業及びこれに付帯する事業で、環境の保全のための植林や生活環境林（地域住民の生活に直接資する薪炭林、果樹林等を含む）の造成のための植林に対する助成を行うもので、2024 年 1 月～12 月の 1 年間で実施を予定する事業となります。およそ、5ha に花木を 3,000 本植樹する予定。

- 事業名：「プレアビヒア州エコビレッジ地区植林を通じた環境修復事業」
- 実施期間：2024 年 1 月～12 月（1 年間）
- 活動内容：花木を中心とした植樹をエコパークで実施。一部はパゴダ植樹活動と連携。NAPV での苗床育成支援を含む。

(2) 2022 年度「日中植林・植樹国際連帯事業」の維持管理事業助成

2022 年度（2022 年 12 月～2023 年 12 月）に実施した植樹活動に対し、下草刈り、給水管理、補植活動。

- 事業名：「2022 年度プレアビヒア州エコビレッジ地区植林維持管理事業」
- 実施期間：2024 年 1 月～12 月（1 年間）

(3) 2024 年度第 33 回イオン環境助成事業

公益財団法人イオン環境財団の支援で、エコビレッジ地区の荒廃した森林を再生すべく、エコビレッジ地区森林環境修復活動として 1,300 本の植樹活動を実施。

- 事業名：カンボジア王国プレアビヒア州エコビレッジ地区森林環境修復活動
- 協働者：NAPV、パゴダ保全組織、小中学校教職員及び学生
- 活動内容：パゴダ地域の植樹活動の共同実施、環境公園の育成（花卉・果樹公園での植樹と下草刈りや給水等の管理実施）、学校と共同した環境授業の開催（植樹や給水、雑草除去体験での環境保全、維持管理体験）
- 植樹本数：1,300 本
- 期間：2024 年 4 月～2025 年 3 月

以 上